

# 御部ダムだより

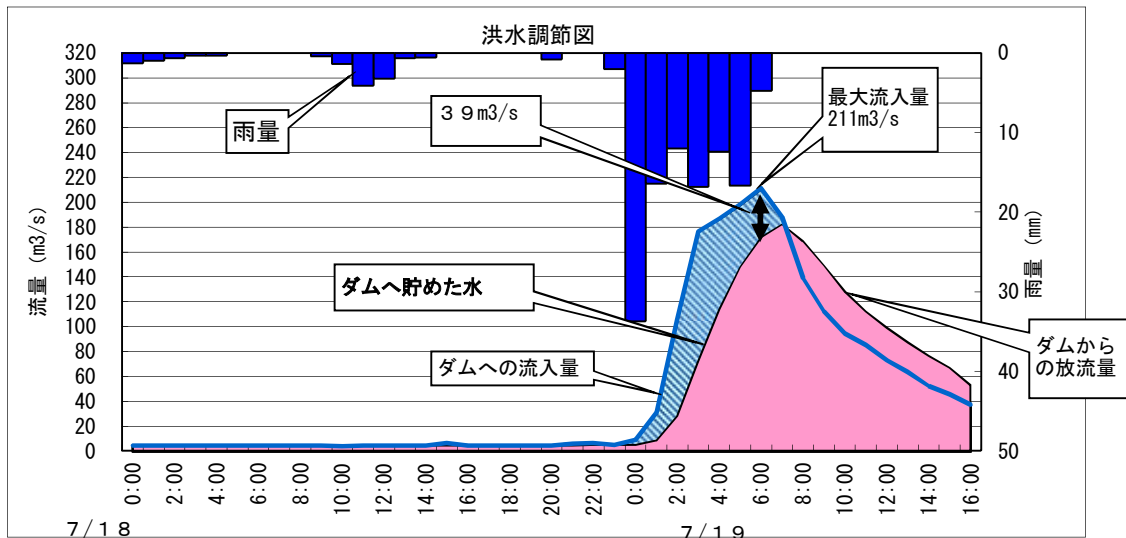
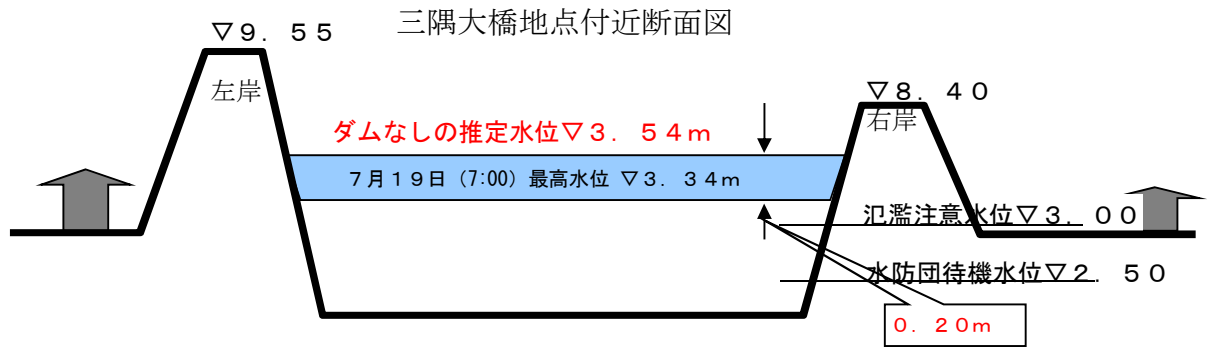
第2号  
平成18年11月

浜田県土整備事務所

出水期(6月15日～10月20日)が終了しました。

今年、梅雨前線の影響により島根県では降り始めからの総雨量が400mmを超えたところがあり、各地で様々な影響が出ました。

御部ダムでは、7月17日の7時より洪水警戒体制に入りました。19日の6時には、降り始めからの雨量が188mmに達し、ダムへの流入量は急増し最大で毎秒211m<sup>3</sup>となりました。御部ダムでは洪水調節により、211m<sup>3</sup>/sの洪水に対して流量を39m<sup>3</sup>/sカットし、下流沿川全域の急激な水位上昇を防ぎました。(三隅大橋付近ではダムがない場合に比べ約0.2m下がることとなりました)

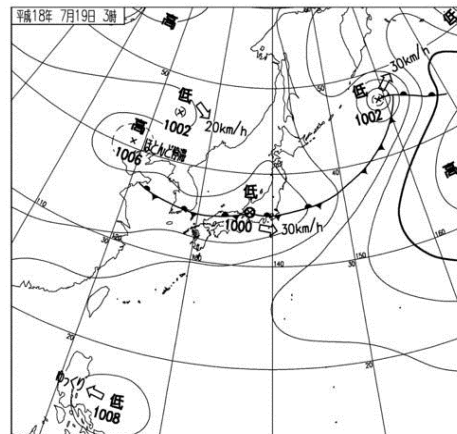


ダムからの放流状況



7月19日8:00頃

7月19日の天気図



所在地：島根県浜田市三隅町黒沢

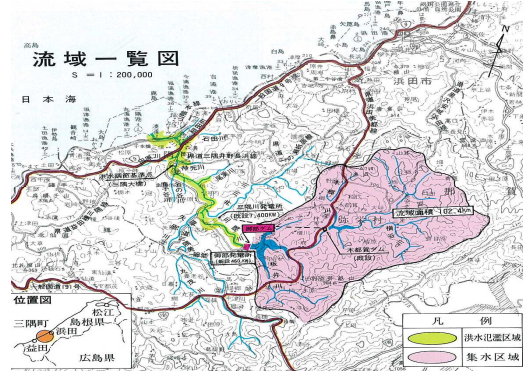
# 御部ダムについて

三隅川は島根県西部に位置する二級河川で標高800m級の弥栄町と金城町の境を分水嶺として西流し、三隅町入って北流し、日本海に注ぐ流域面積230.2km<sup>2</sup>、流路延長40kmの中小河川であります。

本川は、古くから度々氾濫を繰り返し、特に昭和58年7月の県西部を襲った梅雨前線豪雨では古今未曾有の大洪水となり、三隅町は壊滅的な被害をこうむり、このため抜本的な治水対策を講じる必要に迫られ、河道の改修は災害助成事業の採択より実施、上流には洪水調節のダムを三隅川総合開発事業により計画し、水系一貫の治水計画が策定されました。

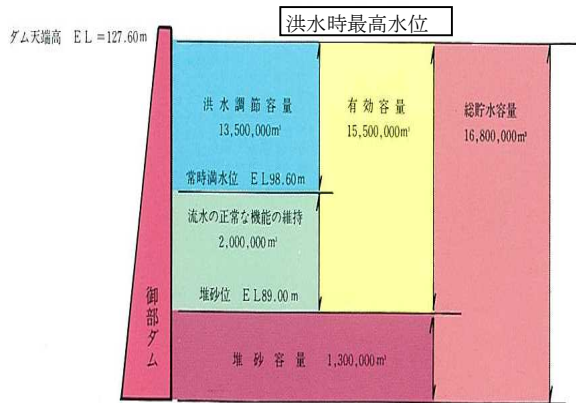
御部ダムは、この計画に基づき三隅川中流部の浜田市三隅町黒沢に多目的ダムとして計画され、三隅川治水計画の中核をなすもので、平成2年3月に完成しました。

その目的は洪水の軽減ほか流水の正常な機能の維持、発電を目的としたダムです。



平成2年3月撮影

## 貯水池容量配分図



## ダム及び貯水池諸元

ダム	
位置	左岸 島根県那賀郡三隅町大字上古和913-7番地先 右岸 島根県那賀郡三隅町大字黒沢2,369番地先
型	式 重力式コンクリートダム
堤 高	63.00 m
堤 頂 長	177.00 m
堤 頂 幅	5.0 m
勾配	上流面 鉛直 (E L 75.0 m 以下) 1 : 0.15
	下流面 1 : 0.78
敷 幅	50.70 m
堤 体 積	130,000 m³
天 端 標 高	E L 127.60 m
越 流 部 標 高	E L 122.50 m
地 質	三郡変成岩類 緑色片岩
貯 水 池	
集 水 面 積	102.4 km²
湛 水 面 積	1.04 km²
総 貯 水 容 量	16,800,000 m³
有 効 貯 水 容 量	15,500,000 m³
洪水調節容量	13,500,000 m³
流水の正常な機能の維持	2,000,000 m³
堆 砂 量	1,300,000 m³
設 計 洪 水 位	E L 125.50 m
洪水時最高水位	E L 122.50 m
平常時最高水位	E L 98.60 m
堆 砂 位	E L 89.00 m